両の中　美しく咲く一輪の花

サンカヨウ

一輪の花から忘れられた日本人の雨の記憶が花開く

かつての日本人は雨を「天からのもらい水」として、雨に恵を感じていた。しかし、いつしかその雨は生活の中で厄介者となり、雨を美しむ文化が失われてしまった。
そんな雨の中で美しく咲く一輪の花がある。私たちはその花を自然素材として採用することで、雨を美しむ日本文化を再生するとともに、持続可能な生活を実現する。

01　はじまりの物語

“ひさかたの　雨も降らぬか　雨障み　君にたぐいて　この日暮らさん”

かつての日本人は雨を「天からのもらい水」として大切にし、雨の日に趣を感じていた。微妙な雨の違いを感じ取り、つけてきた情緒ある名前は400に上る。そんな日本人はいつしか雨を厄介者と感じるようになってしまった。現代日本の雨降る街には、傘の下、うつむきがちに歩く人で溢れている。雨に趣を抱く一つの文化が失われてしまったのだ。
そんな雨の中で一輪の花が雨に濡れて美しく咲いていた。

その花の名前は、

「サンカヨウ」

雨に濡れたサンカヨウの美しさには、日本人が忘れていた「雨を美しむ文化」をもう一度蘇らせる力がある。
サンカヨウを自然素材とした暮らしの中で、失われた日本文化が花開く。

02 雨の日に咲く一輪の花　（サステナブルな住まいを実現するために採用する自然素材）

Sankayou

******* サンカヨウ *******

雨に濡れると透明になるお花。
透明感のある花びらが
なんとも儚く、幻想的。

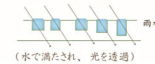
特徴

- 別名「スケルトンフラワー」
- メギ科サンカヨウ属でやや湿った場所に育つ
- 高さ30cm～70cm
- 茎の先に直径2cmの白い花びらをつける
- 雨に濡れると花びらが透明になる

原理

（細胞間の気泡が光を乱反射）

花びらの細胞の隙間に光が入り込み
光が散乱することで通常は白く見えている



（水で満たされ、光を透過）

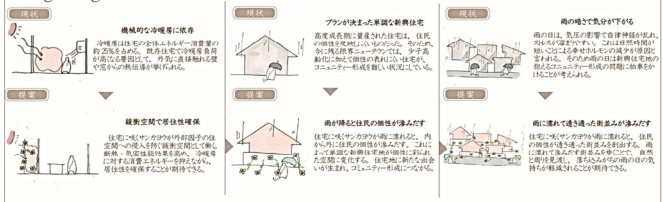
雨水が隙間を満たすことで散乱が起きなくなり
光が透過することで透明に見える

花言葉

幸せ・親愛の情

03 失われた「雨を美しむ文化」の再生　（サンカヨウの原理で雨の日のイメージを変えていく）

Image Diagram



04 建築にサンカヨウの花を咲かせる　（すりガラスの反転）

Frosted Glass

****** すりガラス *******

特徴

「サンドブラスト加工」
ガラスの表面を金剛砂で研磨し、ガラスの透明度を下げている。

「乳白色のガラス」
乳白色のガラスに光が入り込み、柔らかい空間を創造する。

「透明度の変化」
すり加工された面が水に濡れると透明度がアップする。

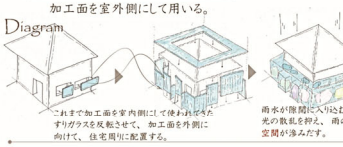
一般的な使い方

加工面を室内側にして用いる。

サンカヨウを咲かせる使い方

加工面を室外側にして用いる。

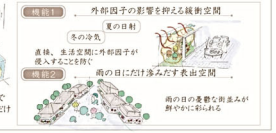
Diagram



これまで加工面を室内側にして使われていた
すりガラスを反転させて、加工面を外側に
向けて、住宅周りに配置する。

雨水が隙間に入り込むことで
光の散乱を抑え、雨の日だけ
空間が浮んだす。

喜雨の間（きうのま）　すりガラスと既存外壁の間に生まれる空間
（かつての雨を天からの恵と考え付けられた名称・喜雨）

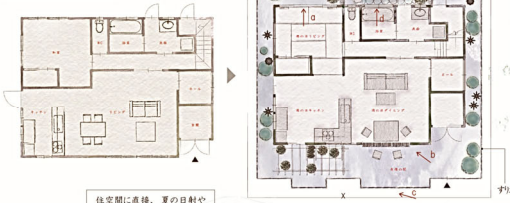


05 雨によるコミュニティーの再建

***** 広島市限界ニュータウンのリノベーション *****

限界ニュータウンの抱える課題 ▶ 建築にサンカヨウが咲いた住まいがもたらす効果

リノベーション前
住宅１階平面図　1:200



リノベーション後
雨の日の住宅１階平面図　1:200

a 和室に咲くサンカヨウ

b リビングに咲くサンカヨウ

c 街並みに咲くサンカヨウ

d 浴室に咲くサンカヨウ